

松戸市の公共交通や移動に関する市民意識調査

1. 実施概要・目的

公共交通の利用状況や交通サービスに対する満足度、日常的な交通移動手段・移動目的・頻度及び公共交通の維持・確保のあり方等を把握し、潜在的な需要層やそのニーズ等を探り、課題整理・分析や将来の公共交通のあり方を検討するにあたっての基礎資料として活用するため、市民意識調査を行う。

2. 実施期間

2024年10～11月頃

3. 調査項目とねらい

質問番号	調査のねらい	概要	設問番号
質問1	ターゲットの明確化	回答者の属性を把握し、公共交通施策のターゲットの明確化を図る。	(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)
質問2	公共交通施策に対する社会受容性や機運の把握	市民の公共交通に対する意識を把握し、施策展開にあたって地域に受け入れられる可能性や公共交通のあり方の検討に活用する。	(1)(2)
	公共交通の利用状況の把握	公共交通の利用状況を把握し、今後の改善点の明確化を図る。	鉄道 (1)(2)(3)(4)(6)(8) バス (1)(2)(3)(4)(5)(6)(9) タクシー (1)(2)(3)(4)(5)
	公共交通に対する現時点での評価の把握	公共交通サービスの利便性や満足度を調査し、計画策定に伴う効果検証のベースとなる指標を取得する。	鉄道 (5)(7) バス (7)(8)
質問3	目的別の移動状況の把握	目的別の移動実態を把握し、潜在的な需要層やそのニーズ等を探り、取り組む施策の検討に活用する。	通勤・通学 (1)(2)(3)(4) 病院の利用 (1)(2)(3) 日常の買い物 (1)(2)(3) 市内公共交通の利用 (1)(2)(3)(4) その他日常の外出 (1)(2)(3)
質問4	自動車の運転状況や免許返納意向の把握	自動車の運転状況や免許返納に対する考えを把握し、移動時の自動車利用を見直すことで、公共交通の必要性の検討に活用する。	(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)
質問5	将来(約10年後)の移動に関する不安や支障の把握	現在だけでなく将来的な移動に関する不安や支障、意向を把握することで、将来の公共交通のあり方の検討に活用する。	(1)(2)(3)
質問6	市民の意見の把握	市民の困りごとや実施したい活動などを把握し、公共交通のあり方の検討に活用する。	(1)(2)(3)(4)